

現在まで環の大きさが区別されず、α、β、γに分けられてきたブドウ糖が六個つきのものがαCD、七個のものがβCD、八個のものがγCDと呼ばれている。

性質上、環の中が親油性で外側が親水性という二面性を持ち、様々な物質を取り込むことが可能で汎用性が非常に高い。

包接された物質分子（ゲスト）が非常に細かいため、粒子が非常に細かいためによく分散される。したがって環状オリゴ糖に包接された物質は、体内で有効利用される可能性が高い。この「包接技術は、サプリメントの品質向上に大きな貢献となり、従来の製品設計の欠点を改善する可能性が高い。

**究極のサプリメント「花粉エキス」 vol.3**



シンシア・R・メイ CEO

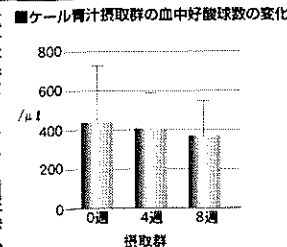
前回花粉症に対する知見がでたことで「腸内菌叢のごとにふれました。戦後の私たちの食生活はこの数十年で大きく変わりました。確かに食品に含まれている保存剤や防カビ剤が食品の腐敗を防ぎ、カビの発生を抑え、食中毒の被害は減りました。

一方でこのような添加物が私たちの腸内に入ると腸内細菌のごとに作用をするのかについてはそれほど真剣に検討されてきたようには思えません。

また抗生物質も腸内細菌を死滅させ、結果的に腸内環境を悪化させて免疫力を低下させていると考えられています。

ビタミンやミネラルが豊富な野菜は、大地の土が肥沃でなければなりません。私たちの腸内も常に栄養バランスのとれた状態に保ち善玉菌が定着するような培地環境が必要です。花粉エキスの中身というのは次の植物を生み出すために必要な栄養成分がバランスよく含まれているため、食事と同様に摂れば、私たちの腸内環境を常に良い状態に保ってくれます。

イタリーでは以前から小学生らが朝食の中に花粉エキスを入れた食事をとることや、風邪などにかかりにくい体作りをしています。ミネラル、ビタミン等のバランスがとれた食事を毎日摂ることが難しくなってきた現代社会において、私どもの花粉エキスが皆様の健康維持に役立つといわれるのを願っています。



総合研究所が行った調査で、ケール青汁の摂取がアトピー性皮膚炎患者の皮膚症状を緩和させる可能性が見出されたことを受けて行われた。

実験は、アトピー性皮膚炎のある男女二名が対象。ケール青汁摂取群(二名)と非摂取群(二名)に分け、摂取群は一日に青汁粉末三袋(計10.5g)を八週間摂取した。試験前、開始四週後、八週後の診察で皮膚の角層水分量、経皮水分蒸散量、血中のアレールギー指標である好酸球、Th1、Th2等を測定。アレールギーの活動度を観察する血中好酸球の細胞活性化も測定した。

両群間比較の結果、摂取群は八週間摂取後に角層水分量が上昇、経皮水分蒸散量は低下し、皮膚の乾燥状態が改善されたことが示唆された。好酸球は摂取後に低下し、Th1、Th2は四週摂取後に上昇し、いずれも改善傾向が示された。細胞活性化においては、遊走する好酸球数が減少の傾向にあった、としている。

以上により、ケール青汁にはアトピー性皮膚炎患者の血中好酸球を低下させ、皮膚状態を良くする働きがあることが示唆された。

図:フラバンジェノール服用による冷え性などの改善

冷え性、肩こり、顔や爪の血色、頭痛などに役立つフラバンジェノールの商品が、大いに期待されている。

昨年と同様に、フラバンジェノールの研究結果が、アトピー性皮膚炎患者の皮膚症状を緩和させる可能性が見出されたことを受けて行われた。

実験は、アトピー性皮膚炎のある男女二名が対象。ケール青汁摂取群(二名)と非摂取群(二名)に分け、摂取群は一日に青汁粉末三袋(計10.5g)を八週間摂取した。試験前、開始四週後、八週後の診察で皮膚の角層水分量、経皮水分蒸散量、血中のアレールギー指標である好酸球、Th1、Th2等を測定。アレールギーの活動度を観察する血中好酸球の細胞活性化も測定した。

両群間比較の結果、摂取群は八週間摂取後に角層水分量が上昇、経皮水分蒸散量は低下し、皮膚の乾燥状態が改善されたことが示唆された。好酸球は摂取後に低下し、Th1、Th2は四週摂取後に上昇し、いずれも改善傾向が示された。細胞活性化においては、遊走する好酸球数が減少の傾向にあった、としている。

以上により、ケール青汁にはアトピー性皮膚炎患者の血中好酸球を低下させ、皮膚状態を良くする働きがあることが示唆された。

**GRAMINEX**  
Your Botanical Source™

Graminex, L.L.C.  
95 Midland Road, Saginaw, MI 48603 U.S.A.  
Phone: 1-877-472-6469 Fax: 1-989-799-0020  
Email: [graminex@graminex.com](mailto:graminex@graminex.com)  
<http://www.graminex.com/>

広告

**KOHKAN 話題のペルー原産植物も**  
Pharmaceutical Institute Co., Ltd.

**注目の世界のハーブから**

**売れ筋 オリジナル商品 OEM・PB化、ご相談を!**

加工一例  
 ■打錠・顆粒 ■カプセル(●ソフト) (●ハード)  
 ■エキス(●粉末) (●液) ■お茶(●刻み) (●ティーバッグ)

マカ  
 キャッツクロウ

ペルー・ラ・モリーナ国立農業大学の総合研究所と提携!! 信頼の原料で商品化  
 ●ペルー植物学会会長ラモン・フレイラ博士認定マーク付原料も取扱い!!

マカやキャッツクロウに代表されるペルー原産植物をはじめ、西洋オトギリ草やエキナセア等、いずれも信頼性のたかい品質の世界各国のハーブを豊富に取揃え、オリジナリティーのある売れ筋商品開発をお手伝いします。お気軽にご相談下さい。

最新の技術と設備であらゆるニーズに専門スタッフが迅速に対応!  
 企画・デザイン・製品化・許可の手続きまで

**当社オリジナル・ペルー植物食品**

キャッツクロウ茶    キャッツクロウエキス粒    チャンカピエドラ茶    マカ粒

■原材料卸しもお相談下さい。

株式会社 **皇漢薬品研究所** 03-3861-3843 代  
 〒101-0031 東京都千代田区東神田2-1-3 FAX.03-3861-3716

躍進する企業の良きパートナー